

日本教育評価研究会

心理検査士ガイド

認定基準・申請手続き・特典
(付)申請用紙・申請専用履歴書

「心理検査士」認定申請のおすすめ

日本教育評価研究会 会長 石田恒好

今日、教育の改善や指導は、エビデンス(証拠)に基づいて行われるべきだ
という主張がなされていますが、教育・心理検査から得られる結果は、まさに
その有力なエビデンスになると考えられます。

このように教育・心理検査の意義が強く認識され、その必要性がますます
高まっている今日、日本教育評価研究会(機関誌「指導と評価」を発行)では
教育・心理検査の正しい活用法の普及が必要であるという認識のもとに、
「心理検査士」認定制度を設けました。

日本教育評価研究会会員の方々に「心理検査士」の資格を取得していただき、
教育・心理検査の正しい活用法の普及に指導的な役割を果たしていただこう
というものです。

教育・心理検査に興味と関心を持たれ、深いご理解をいただいている会員
の先生方に、できるだけ多く「心理検査士」認定の制度をご利用いただきたい
と思います。

1 「心理検査士」認定基準

- (1) 日本教育評価研究会会員であること(申請時に入会することもできます)。
- (2) 教育職員免許状を有していること。または、それと同等の識見を有すると認められること。
- (3) 「指導と評価大学講座」(「指導と評価大学地方公開講座」も含む)および「実践教育・心理検査基礎講座」を各1回受講し、かつ、次のいずれかの条件を満たすこと。
 - ア さらにもう1回「実践教育・心理検査基礎講座」を受講すること
 - イ 専用履歴書に記入された集団・個別検査の実践歴・研究歴が認定委員会によって十分と認められること。

なお、日本教育評価研究会支部において認定委員会を設置している場合は、上記の基準を参考にしつつも、「日本教育評価研究会支部開催の講座」等の受講回数が勘案されるので、詳細については支部の認定委員会に照会してください。

2 「心理検査士」認定申請の手続き

1 申請の手順

- (1) 次の書類等を用意し、申請書・履歴書に必要な事項を漏れなくご記入ください。
- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. 心理検査士認定申請書 | 2. 受講証明書(修了証等のコピー) |
| 3. 心理検査士認定専用履歴書 | 4. 認定申請料(6,000円) |
| 5. 日本教育評価研究会に同時入会の場合は別途に年会費(5,400円) | |
- (2) 上記の書類と現金とを「現金書留」にて下記あてにお送りください。
112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15-3F 日本教育評価研究会「心理検査士」係
電話 03-3943-2515
- (3) 申請書類は通年受け付けますが、3月末日・9月末日までに到着の分をそれぞれ翌月の認定委員会において審査いたします。
(事前に事務局が書類等を点検し、不備のある場合は確認をさせていただきます)
- (4) 納入された認定申請料は原則としてお返しいたしません。
認定が保留となり審査が継続される場合は、その期間中は認定申請料は有効です。

2 認定と結果の通知・発表

- (1) 認定は日本教育評価研究会「心理検査士」認定委員会が細則に基づいて行います。
認定会議は原則として毎年4月と10月の第3月曜日に開催を予定しています。
(支部において認定委員会を設置している場合はその定めるところによります)
- (2) 認定結果は認定委員会開催後、すみやかに直接ご本人あてに郵便でご通知します。
- (3) 心理検査士に認定された方々の氏名と所属は日本教育評価研究会の機関誌「指導と評価」(6月号または12月号)誌上に発表いたします。
「心理検査士」特典の第7項については、認定申請書の備考欄の記載内容に即して事務局において手続きをとります。
- (4) 期限：「心理検査士認定基準の(1)、(2)の条件が満たされなくなったとき、「心理検査士」登録は抹消されます。

3 「心理検査士」の特典

- 1 日本教育評価研究会ならびにその関連機関（一般社団法人日本図書文化協会・一般財団法人応用教育研究所）が主催する各種研修会・講演会の案内が送付され、優先受付や参加費用の割引等の扱いを受けることができます。
- 2 日本教育評価研究会ならびにその関連機関（一般社団法人日本図書文化協会・一般財団法人応用教育研究所）が発行する各種刊行物・資料等が送付されます。
- 3 関連出版社である図書文化社の刊行物（教育図書）のご購入に際しては迅速なお届け、配送費無料等の扱いを受けることができます。
- 4 教育心理学系、教育相談系等の諸学会の制定する各種資格認定制度との連携をはかっています。日本教育カウンセラー協会の教育カウンセラー認定申請の際の学位、免許、資格等に該当しポイントが加算されます。
- 5 機関誌「指導と評価」編集会議の執筆候補者リストに登録されます。
- 6 「教育評価のあり方」、「各種教育・心理検査の実践的な活用」等をテーマとする研修会の講師をお願いするなど、豊富な教育実践や研究の成果を生かしていただく機会が得られます。
- 7 公的な認知を促進するために、「心理検査士」認定者の氏名・所属校を所属校所管の都道府県ならびに市区町村の教育委員会、その他のご指定の機関あてに送付いたします。ご本人の希望の有無にしたがいます。申請書類備考欄にご記入ください。その他のご指定機関については事務局の判断により必ずしもご要望に添えない場合があります。
- 8 「心理検査士」は教育・心理検査に関してのスペシャリストとしての資格を認定されたものですから、履歴書に記載することができます。ただし「免許」ではありませんから、この資格をもって特定業務の独占を保証するものではありません。スペシャリストとしての自覚にたって、各職場においてご活躍されますよう期待いたします。

心理検査士認定申請書

日本教育評価研究会 会長 殿

下記の通り心理検査士認定のための講座を受講しましたので、その修了証の写し(コピー)と履歴書、認定申請料を添えて認定を申請します。

| | 指導と評価 大学講座 | 実践教育・心理検査 基礎講座 | その他の講座 (講座名は欄外に) |
|----------------|---------------|-------------------|---------------------|
| 受講年月 修了証 番号 | 昭・平 年 月 号 | 昭・平 年 月 号 | 昭・平 年 月 号① |
| 受講年月 修了証 番号 | 昭・平 年 月 号 | 昭・平 年 月 号 | 昭・平 年 月 号② |
| 受講年月 修了証 番号 | 昭・平 年 月 号 | 昭・平 年 月 号 | 昭・平 年 月 号③ |

「その他の講座」の講座名 ①

②

③

平成 年 月 日

認定申請者 (ふりがな) 氏 名 _____ 印

■ 備考

*「心理検査士」認定者の氏名・所属校を所属校所管の都道府県および市区町村の教育委員会、その他ご指定の機関あてに送付することについて 希望する 希望しない

(希望される場合は下記にご記入ください)

- (1) _____ 都道府県教育委員会 (役職名) _____
(氏 名) _____ あて
- (2) _____ 市区町村教育委員会 (役職名) _____
(氏 名) _____ あて

(3) その他の送付先(機関名・氏名・役職名・郵便番号・住所)をお書きください。

心理検査士認定申請書用 履 歴 書 平成 年 月 日 記入

| | |
|---|---------------|
| (ふりがな) | 性 別 () |
| 氏 名 | 印 生 年 昭和・平成 年 |
| 現住所 (郵便番号 -) | TEL FAX |
| 勤務先・職名 | |
| 所在地 (郵便番号 -) | TEL FAX |
| 教員免許状の種類(代表1種) | 取得 昭和・平成 年 |
| 最終学歴 昭和・平成 年 月 | |
| 職歴(注1) | |
| 資格(注2) | |
| 集団・個別検査実践・研究歴(注3) ※認定審査に必要ですので、空欄にしないようお願いします。 | |
| 応募動機 | |
| (日本教育評価研究会会員確認欄) 会員番号 | |
| <input type="checkbox"/> 会員であるが番号不明 <input type="checkbox"/> 入会申込中で番号未着 <input type="checkbox"/> この申請と同時に入会(注4) | |
| 備 考 | |

(注1) 職歴：教育・心理検査の実践・研究に関連のある職歴を中心にご記入ください。
赴任校歴をすべて記入する必要はありません。

(注2) 資格：相談員資格等、教育・心理検査の実践・研究に関連のあるものをご記入ください。
この欄と次項(集団・個別検査実践・研究歴)は認定会議の重要な参考事項です。

(注3) 集団・個別検査実践・研究歴：集団知能検査、標準学力検査等、また個別知能検査(PBT・K-ABC・WISCなど)、
個別人格検査(CPT・ロールシャッハテストなど)等の実施経験、指導・研究・研修歴をご記入ください。

(注4) 年会費5,400円を認定申請料とともにお送りください。入会手続きがなされ、機関誌「指導と評価」が送付されます。